

決算審査をお伝えします

平成27年度の一般会計、各特別会計及び水道事業会計の決算は、9月定例会において決算特別委員会に付託されました。

審査については、3つの分科会が設置され、それぞれ行われました。

12月定例会に、審査の経過、結果の報告がされ、採決の結果、9会計すべて認定されました。

市政全般にわたって、多くの質疑がありました。その中から、抜粋してお知らせいたします。

決算特別委員会（宮内 守委員長）
18人（議長、監査委員を除く）

第1分科会 総務（栗原 繁主査）
第2分科会 教育厚生（宮内 正主査）
第3分科会 経済建設（小林 久主査）

一般会計

歳入全般について

問 北浦複合団地に設置されたメガソーラーの税収は

答 太陽光設備等の償却資産として約5,900万円の税収になります。

（参考）市全体の太陽光設備等の償却資産の税収は、約1億2千万円です。（北浦複合団地分を含む）

問 米軍再編交付金はどうなるの

答 時限立法のため28年度で終了になりますが、現在6基地の米軍再編関係自治体及び議会等で要望活動をしていま



す。引き続き交付金が継続されるのか、新たな法律で実施されるのか協議中となっております。

問 不動産売却収入は

答 10件の土地売却があり、不動産土地の処分要領、使用目的に応じて、固定資産評価額相当額で売却しています。

総務費

結婚対策支援事業

問 事業内容や成果は

答 これまで男性を対象とした積極性や身だしなみに関するセミナー、親御さんに対するセミナーを開催しています。

また、「おせっかいさん」と称した世話役を公募し、13名によるチームOSKをつくり、お見合い事業等を実施しました。今後は、総合戦略書に掲げている合計特殊出生率1.8に向けて、近隣との連携、婚活イベントを実施して

いきます。報告を受けた成婚数は6件になっています。

問 農家レストランは採算的にはどうだったのか。民間事業者が取り組むような状況はあるか

答 市内の野菜や畜産物を活かした農家レストランを50日間営業しました。客数は2,294人、1日当たり約46人、うち半分以上は市外の方に来ていただきました。

材料費の工夫等により、民間でも市内の野菜や畜産物を使ったレストラン経営は可能と考えます。何件かの問



い合わせはあったが、事業実施には至っていません。

問 行方市ふるさと応援寄附金について

答 27年度、1億1,321万8,117円の寄附をいただきました。寄付者数は、1万749人です。謝礼品等の費

用を差し引いた基金残高は、7,270万円となっています。

民生費

問 臨時福祉給付金支給事業について

答 消費税引き上げによる影響を緩和するため、市町村民税等が課税されない人に対し、一時金を支給する事業です。支給金額は、6,000円、給付した人数は、7,019人となっています。

問 児童措置費について

答 施設型給付費は、認定子ども園に給付し、地域型給付費は19人以下の小規模保育園が対象です。

施設型給付費の主な給付先は、麻生こども園1億227万9,320円、北浦こども園7,333万810円、のぞみ園5,565万6,390円となっています。

問 障害者スポーツ大会については、将来、パラリンピック大会に向けて開催することであったが

答 市独自での大会は、フライングディスク大会を開催しました。障害者の社会参加、交流に重点を置き取り組んでいます。

問 生活困窮者自立支援事業について

答 就労支援や住宅のケア相談窓口を開設し、生活保護前段の対策になります。

衛生費

問 放射能測定システムの使用状況及び数値について

答 27年度の検査件数は、103件（前年度157件）で、検査品目はタケノコが一番多い状況です。給食センターにおいては毎回検査しています。数値は基準を下回っています。

リサイクルプラザ事業

問 家計の事情等がある方へ優先的に提供する考えは

答 社会福祉協議会から自転車提供の要請があり優先的に行った事例があります。事前に団体から要望があり、リサイクル品とマッチすればそういった形で実施していきます。

農林水産業費

問 農家育成のための農業補助金は

答 国・県補助事業については、該当する条件が、新規就農関係や農地集積、大規模農家を中心となっていていきます。市単独で行うのは財政的に厳しいため、国・県補助事業の対象となるよう推進していきます。

イノシシ対策

答 猟友会へ委託し、昨年は155頭捕獲しました。捕獲の場所は北浦・玉造地区が中心で、麻生地区での捕獲はありませんが、四鹿、矢幡、石神地区で被害状況の報告があり、勢力は市全体に広がっていると考えています。予防や防衛対策は、地元住民と連携し、猟友会、県鹿行農林事務所、JAと進めていきます。

6次産業推進事業

問 海外進出、輸出に対しての取り組みは

答 まだ具体的な取り組みにはなっていないませんが、ジェトロから情報提供を受け、実際にサツマイモをマレーシアに、ベトナムに行方産焼酎、紅コガネを試食提供しました。

※ジェトロとは：独立行政法人日本貿易振興機構 貿易を通じ、日本の経済・社会の更なる発展に貢献することを目的とする組織

商工費

問 なめがたふれあいまつりと比べると、天王崎の花火大会は、商工会青年部が中心で寄附を集め実施している。事業の進め方や補助金増額は検討できないか

答 できるだけバックアップして盛り上げていきたいと考えています。これまで事業は1年おきに行われてきましたが、市が300万円を補助することで通年でのイベントが実施出来るようにしています。金額は検討の中で決めていきたいと思っています。



行方市無料職業紹介所

問 27年度は求職者33名のうち14名の雇用が決定されたが、継続して取り組んでいるのか

答 継続して紹介する形になっていきますが、お互いの要望のマッチングが難しい状況もあります。市民の皆様が市内で働けるために、今後も支援をしていきます。

土木費

急傾斜地崩壊対策事業

問 現在施工されている箇所よりも、より危険な箇所があるが、指定要件にあてはまらない状況もある

答 急傾斜事業は完了までに長期間を要し申請時の現状と変化している場合もあります。国、県は当初の計画どおり進める方向となっています。

今後は急傾斜のあり方や考え方、現状を国・県に説明していきます。

重機借上げ料

問 中古でバックホウ等を購入してはどうか、と提案があったが、その後の状況は

答 現場で作業する場合に、複数の機種を使用している状況もあり、借り上げで対応している現状です。

消防費

問 飲料水兼用耐震性貯水槽設置工事について

答 麻生中学校と北浦中学校に60トンの貯水槽を設置しました。設置費は、2基合計で1億794万6,000円となります。

教育費

問 中学校費のスクールバス運行業務委託料は

答 現在、中学校でスクールバスを運行しているのは、統合した旧麻生一中学区だけとなっています。今後も、皆様のご意見をいただいて対応したいと考えています。

問 私立幼稚園運営費補助金は

答 市内の私立幼稚園が認定こども園になったので、27年度の交付金106万2,000円をもって最終となります。

問 給食センター運営事業について、地元の食材は全体の何パーセントぐらいか

答 地元産の食材は約6割(58.8%)です。金額は、8,030万円になります。

災害復旧費

問 北浦幼稚園仮設園舎について

答 園舎のレンタル料は、年間で308万7,900円(税別)となります。

合計では、東日本大震災後からの4年間で、1,235万1,600円(税別)です。

農業集落排水事業特別会計

問 加入率は

答 榎本は100%。玉造北部は、平成28年3月末で31.71%です。

問 玉造北部の加入率の低い原因は何か

答 個人負担がかかること、排水に困っていないという話を聞いていますが、引き続き加入促進していきます。



戸別浄化槽整備事業特別会計

問 市町村設置型事業において、NP型浄化槽の設置を進めている以上は、これを設置するよう周知徹底し推進して欲しい

答 さらに理解を得るためのPR方法や、トータルでの維持経費についても周知していきます。あわせて工事関係者、住宅メーカー、浄化槽を設置する排水設備業者にも周知を図ります。

水道事業会計

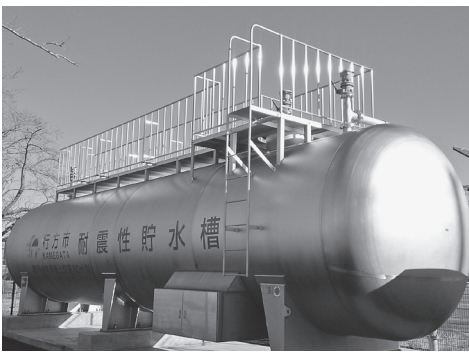
問 耐用年数が40年以上を超えた老朽管の割合は

答 総延長709キロメートルのうち、平成26年度末で40年経過している管路は、約118キロメートルです。割合は17%になります。

このまま推移した場合、10年後には約39%が老朽化になる状況です。

問 水道管の状態は目に見えないため、判断は非常に難しいが、深刻になる前に更新できるような状況をつくって欲しい

答 耐用年数が過ぎたから、すぐに不都合が生じる、使えなくなるといったものではありません。インフラ長寿命化計画を行い、導・送水管は40年をおおむね50年程度、配水管は60年程度の更新期間とする等の検討をしています。



※NP型とは…窒素・りんを除去できる高度処理型の浄化槽